

労働者の直面する課題は複雑化する中 存在意義と役割が問われている 多くの労働者からの相談が寄せられ 新しい組織が誕生



ユニオンちよだ第19回定期大会 結成18年 多くの労働相談が寄せられ

2025年8月30日、ユニオンちよだ定期大会が開かれました。

ユニオンちよだは結成18年です。多くの労働相談が寄せられる中、労働者が直面する課題はますます複雑化を増しています。そうした中で存在意義と役割が問われています。

大会において、新しい組織の「ユニオンちよだ デロイト トーマツ支部」の結成が承認されました。当該の組合員2名からは、社内におけるハラスメント行為をなくし職場環境の改

善すること、そして組合員を拡大していくことが当面の目標ですとのうったえがありました。今後、ユニオンちよだは、200名の組織をめざします。

●新役員

執行委員長	鈴木真理	
副委員長	内田浩	
書記長	鈴木明彦	
執行委員	香取義和	小番孝也
	宮下景子	中野猛司
	増淵保志	池田聡
会計監査	眞鍋泰治	青木和代

《総会を開きました》

60人の組織をめざして

練馬支部



練馬支部は、8月29日に第16回定期総会を開きました。

大会前は学習会です。青龍美和子弁護士による「職場のハラスメントとジェンダー問題」についてお話しいただきました。

今春から練馬労連の専従体制も確立されるなどし、労働相談も増えてきました。組織人員も50人を回復することができました。

今総会は、練馬支部の組織を回復させる運動を確実なものにすることです。

その一つ目に、執行体制を担える人材を獲得していくことです。

二つ目は相談体制を充実させていくことです。

三つ目に学習と交流を組合活動の原動力に位置付けていくことです。

そして、四つ目に組織を大きくしていくことです。

練馬支部は、60人の練馬支部の実現をめざします。

2025年度 新役員は以下の通りです

執行委員長	岸田幸雄
書記長	桑原研二
会計＋教宣担当	伊藤悦子
会計監査	佐藤稔
執行委員	坂尻正行
	高畠素昭
	上原良子

《活動報告》

団結ビアパーティー

CU品川



猛暑の中、8月17日（日）に品川区中小企業センターで13時半からCU品川団結ビアパーティーを開催し、21人が参加しました。

今回は会場の都合でお盆明けとなり、参加が少ない状況でした。受付してすぐに、執行委員が用意した6種類のお弁当から好きなお弁当をとってもらい、ウエルカムドリンクとして冷えた生ビールを飲みながら、池野委員長挨拶で始まりました。

飲食の途中で自己紹介や職場での闘いや状況を出し合い、その後、全員に当たる抽選会を行いました。1等には、障害者介護施設で

訃報

CU東京初代の委員長、市瀬正樹さんが闘病中のがんにより亡くなりました。8月24日の朝、享年82歳でした。



東京土建副委員長の市瀬さんは、2008年6月「東京CU準備会」発足時から準備委員長として活動し、翌年の「CU東京」結成大会（組合員52人）で委員長に選出され、第5回大会（組合員471人）で退任しました。以後CU練馬、練馬労連、東京土建練馬支部などで活動をしてきました。

ご冥福をお祈りします

岩渕組合員は、昨年7月に「雇止め無効・地位保全」を求め、東京地裁に古川橋病院を提訴し、現在、争議中です。裁判は「雇止め」される最後の契約更新後の1年間の勤務状態が争点になり、病院は具体的な立証ができないでいます。今秋か今冬には証人尋問裁判に進むでしょう。

CUあだち支部

8月27日、CUあだち支部に久しぶりに19人の組合員による「後楽園」分会が誕生しました。分会総会は舘副委員長の開会あいさつで始まり、13年ぶりの分会誕生に支部役員も参加

CU豊島支部 皆内マサ子

空港でも地上職員の待遇改善でストライキが行われ50万人が影響受けたと報道されました。

デュッセルドルフの街並みは、郊外に行かない限り一戸建てではありませんので広々としています。ごみ箱はありとあらゆるところにあります。ライン川迄散歩に行きましたが川のほとりにもごみ箱がありました。リサイクル用の大きな箱が道端にあり、いろいろな洋服など何時でも持っていくことが出来ます。

ハンブルクまでの遠出はしましがドイツの暮らしを楽しんできました。国が変われば本当に違うのだと思いました。

ドイツに行く前に物知りの友人から北海道より緯度が高いのだから寒いのは当たり前でしょうと言われて行きましたが、東京では雪が降っていると、報道されていましたが、ドイツはとても暖かく桜も満開でした。今年は2度も花見をする事が出来ラッキーでした。

娘家族が元気に暮らしていることがわかりほっとしました。しかし距離的にも費用の面でも遠いですね。



花いっぱい
ドイツ



酢ゴーヤのレシピ

- 用意する物 ジャム等の瓶 ゴーヤ (1本) お酢 (80cc) 蜂蜜 (大さじ2杯)
- 作り方

- ①ジャム等の瓶に、お酢80ccを入れ、電子レンジで人肌に温める (10秒ほど)
- ②お酢を暖めた瓶に、蜂蜜を大さじ2杯入れ、かき混ぜ溶かしておく。
(お好みで七味や胡椒を一振り、甘さかげん酢かげんもお好みで調整)
- ③ゴーヤ1本を種が取りやすいように横にして半分に切り、さらに縦半分ずつに切る。
- ④ゴーヤの硬い種の部分をスプーンで取り除く。
(ワタの部分は残ったままでよい＝すてるのはもったいない)
- ⑤ゴーヤを半月切りに薄くスライスする (1mm程)
- ⑥薄切りにしたゴーヤを②の瓶に詰める。液にゴーヤが浸かる程、詰める。
瓶やゴーヤの大きさで、ゴーヤ1本全部入らないかも。
1時間程冷蔵庫に冷やせば、美味しく召し上がれます。
サラダに、酢ゴーヤを加えても、美味しく頂けます。



↑酢ゴーヤのレシピは、沖縄出身の渋谷支部の伊藤さんから、教えていただきました。

し、CUあだち齋藤委員長がお祝いと激励の挨拶を行いました。

闘争に深くかかわったCU東京鈴木執行委員から「団交の意義について」講演をもらい、労組法の趣旨から解き明かし、団体交渉の目的とする課題の解決に労使双方が立ち向かっているかが団交の基本であることを実践的に解明されました。論点外しや妨害は断じて許されません。この基本で団交の実践的な意義を深めました。

あだち支部に「後楽園分会」なのかと思いますが3年も警備員の仲間が裁判までして闘い23年5月「警備員の待機時間は労働時間である」との地裁判決勝ち取りました。さらに数年間の未払賃金600万、更に2回目に640万の未払問題の決着を果たしたのが後楽園球場近くの職場の名残から「後楽園」分会と命名しました。(齋藤分会長)

熱中症の危険を呼びかけるアナウンサーがスーツにネクタイ姿なのに違和感を覚え、室温28度推奨のクールビズも死語になりにかねない猛暑。地球温暖化の影響、根底にある産業由来の問題は明らかだが、そこに踏み込まない気象解説にも疑問だらけ■脱炭素には再生可能エネルギーが期待されるが、三菱商事が洋上風力発電の建設計画から費用高騰・採算割れを理由に撤退した。国のプロジェクトだが、4年前の入札時に圧倒的低価格で競合他社を退けて3海域で受注している。当時は疑惑の国会質問した議員(自民)が逮捕され、今回の撤退には米投資会社の思惑が報道されている■国の支援も巨大な資本も、もとはと言えば国民・勤労者が汗を流して培った技術や価値が集積している。企業は生産や雇用に社会的な責任がある■倒産・廃業・縮小で職場を放り出され、買収・合併・分社で労働条件が不利益変更、そういう相談は途切れない。資本の身勝手さに規制をかけるのも労働組合の役割だろう。